



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年1月31日  
上場取引所 東

上場会社名 ワタベウェディング株式会社  
 コード番号 4696 URL <http://www.watabe-wedding.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 花房 伸晃  
 問合せ先責任者 (役職名) グループ管理本部長 (氏名) 平木 親臣 TEL 075-778-4111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月1日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	33,783	△0.1	1,551	279.0	1,269	122.3	536	432.7
28年3月期第3四半期	33,808	△0.8	409	—	570	272.8	100	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 593百万円（-%） 28年3月期第3四半期 △94百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	54.14	—
28年3月期第3四半期	10.16	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	19,967	10,901	54.2
28年3月期	20,811	10,342	49.5

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 10,822百万円 28年3月期 10,293百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期（予想）				—	—

(注) 平成29年3月期の期末配当予想額は未定としております。

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,500	1.4	300	104.1	300	44.0	100	112.8	10.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	9,909,400株	28年3月期	9,909,400株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	376株	28年3月期	326株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	9,909,068株	28年3月期3Q	9,909,074株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における運営状況と経営成績について、「リゾート挙式」におきましては、カップルやご家族のみではなく、国内の大切な人たちともかけがえのない思い出を創出できるように、リゾート挙式後の国内でのお披露目パーティの販売を強化することでリゾート挙式の商品価値の向上を進めるとともに、積極的に日本国内での受注獲得を行いました。

このような状況の中、競争の激化や景気が不透明であること等により、挙式取扱組数は減少する結果となりましたが、1組当たり単価の上昇や収益構造の改善、為替の円高傾向の潮流等により、売上高は前年同期比微増、セグメント利益は大幅改善となりました。

今後は当社主力エリアであるハワイにおいて、平成29年4月14日に“大人の社交場”をテーマにした「ザ・バンケット ハーバーコート」をオープン予定とし、平成28年11月23日から受注を開始しました。また、前四半期から受注を開始した、ハワイで唯一のスカイビューチャペルとなるハワイプリンスホテルワイキキの最上階に「ラニレア チャペル」を平成29年5月1日にオープン予定とするなど、ハワイの中でも人気の高いワイキキ、ダウンタウンエリアに施設を構え、従前とは異なる顧客層の獲得に努めてまいります。

「ホテル・国内挙式事業」におきましては、主力である婚礼事業に加えて、一般宴会事業や宿泊事業の強化に取り組んでまいりました。

目黒雅叙園では、平成28年9月に7階フロアの全客室をリニューアルしブランド価値の向上を図ると共に宿泊単価の向上に寄与したほか、婚礼及び宴会事業も引き続き堅調に推移いたしました。

メルパークでは、「平成28年熊本地震」の影響等により前年同四半期比で挙式取扱組数は減少したものの、一般宴会や宿泊部門が正常営業を取り戻すなど安定的に推移しております。

なお、12月末日をもって当社のハワイにある施設（チャペル）の一部が退去したことにより、設備の除却等が発生したため、289百万円の施設店舗整理損を特別損失に計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高33,783百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益1,551百万円（前年同四半期比279.0%増）、経常利益1,269百万円（前年同四半期比122.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益536百万円（前年同四半期比432.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

## ① リゾート挙式

挙式取扱組数が減少したものの、1組当たり単価が増加したことにより、売上高は13,787百万円（前年同四半期比1.0%増）となり、利益面につきましては、収益構造の改善や為替の円高傾向の潮流により、セグメント利益は795百万円（前年同四半期セグメント損失96百万円）となりました。

## ② ホテル・国内挙式

挙式取扱組数が減少したことなどから、売上高は19,995百万円（前年同四半期比0.8%減）となったものの、利益面につきましては、原価や販売管理費の削減を進めた結果、セグメント利益は668百万円（前年同四半期比35.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ136百万円減少し、9,192百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加した一方で、売掛金及び流動資産のその他が減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ707百万円減少し、10,774百万円となりました。これは主に建物及び構築物が減少したことによるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ843百万円減少し、19,967百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,267百万円減少し、7,109百万円となりました。これは主に借入金の減少によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ134百万円減少し、1,956百万円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,402百万円減少し、9,065百万円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末に比べ558百万円増加し、10,901百万円となりました。これは利益剰余金や繰延ヘッジ損益の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、業績は概ね計画通り推移していることから、平成28年5月11日発表の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,311	5,630
売掛金	1,636	1,523
商品及び製品	244	232
仕掛品	15	10
原材料及び貯蔵品	463	409
その他	1,691	1,416
貸倒引当金	△33	△29
流動資産合計	9,329	9,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,990	3,469
土地	2,023	1,893
その他(純額)	1,196	1,268
有形固定資産合計	7,210	6,632
無形固定資産	573	512
投資その他の資産		
差入保証金	2,669	2,727
その他	1,031	906
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	3,697	3,629
固定資産合計	11,481	10,774
資産合計	20,811	19,967
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,433	1,755
短期借入金	933	325
未払法人税等	473	220
前受金	2,208	2,012
賞与引当金	508	316
その他	2,818	2,478
流動負債合計	8,376	7,109
固定負債		
長期借入金	125	62
退職給付に係る負債	1,011	1,083
資産除去債務	586	588
その他	368	221
固定負債合計	2,091	1,956
負債合計	10,468	9,065

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,038
利益剰余金	2,504	2,991
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,718	11,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68	79
繰延ヘッジ損益	△260	30
土地再評価差額金	△903	△903
為替換算調整勘定	655	396
退職給付に係る調整累計額	14	14
その他の包括利益累計額合計	△425	△383
非支配株主持分	49	78
純資産合計	10,342	10,901
負債純資産合計	20,811	19,967

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	33,808	33,783
売上原価	11,822	10,945
売上総利益	21,985	22,838
販売費及び一般管理費	21,576	21,286
営業利益	409	1,551
営業外収益		
為替差益	100	—
その他	86	54
営業外収益合計	187	54
営業外費用		
為替差損	—	307
その他	26	29
営業外費用合計	26	336
経常利益	570	1,269
特別利益		
固定資産売却益	34	48
関係会社株式売却益	—	60
その他	—	2
特別利益合計	34	111
特別損失		
減損損失	—	84
固定資産除売却損	15	71
施設店舗整理損	10	358
その他	—	2
特別損失合計	26	516
税金等調整前四半期純利益	579	864
法人税等	475	314
四半期純利益	103	549
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	100	536



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	103	549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	10
繰延ヘッジ損益	△159	290
為替換算調整勘定	△28	△257
退職給付に係る調整額	△14	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△197	43
四半期包括利益	△94	593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△95	578
非支配株主に係る四半期包括利益	1	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	13,644	20,163	33,808	—	33,808
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,198	71	5,269	△5,269	—
計	18,843	20,234	39,078	△5,269	33,808
セグメント利益又は損失(△)	△96	495	399	10	409

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額10百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	13,787	19,995	33,783	—	33,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,271	98	5,369	△5,369	—
計	19,058	20,094	39,153	△5,369	33,783
セグメント利益	795	668	1,464	87	1,551

(注) 1. セグメント利益の調整額87百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リゾート挙式」セグメントにおいて18百万円、「ホテル・国内挙式」セグメントにおいて65百万円の減損損失をそれぞれ計上しております。